

# 主体性を高めるための 振り返りシートの活用について




# 生徒の実態

- ・自分の学習がどこまで進んでいるのか、把握できていない。
- ・学習意欲はあるが、何から手を付けてよいのか分からない。
- ・テストの結果に一喜一憂するだけで、具体的な振り返りや学習の調整ができていない。
- ・前回どのようなことを学習したかという質問に答えることができない。(言葉で表現できない)

⇒ 「できること」を可視化し、成長を実感することで主体性を高めることができるのではないか。

# 授業用

自分の学習がどこまで進んでいるのか可視化するために、問題集の進捗状況に合わせて色を塗る。

演習  ...答えを書いた、  ...やり直しをした、  ...自力で解けるようになった

## 数学B 第2章 統計的な推測 振り返りシート

( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

No.	学習内容	日付	問題集		演習	コメント
1	確率分布を求める		86	87		
2	確率分布から期待値を求める		88	89		
3	$E(X)$ から $aX + b$ の期待値を求める		90	91		
4	確率分布から $E(X^2)$ を求める		92	93		

学習内容を短い言葉でまとめておくと、振り返りがスムーズになる。

教科書傍用問題集の番号を書いておくことで、復習しやすくなる。

# テスト用①

テストの問題がどの学習内容から出題されたか。

テスト番号	振り返り No.	振り返り演習率	結果
1	1	3	△
2	1	3	○
3	2	3	○
4	6、8	3	×
5	14	3	△
6	10	3	△

できるようになったと思っていた問題ができなかった。

テスト問題に対応する問題を傍用問題集でどこまで学習したか。

演習 1  ...答えを書いた、 2  ...やり直しをした、 3  ...自力で解けるようになった

## テスト用②

単元テストを振り返ってよかったところ、改善したいところ

③の計算問題で、計算ミスをしていたので、これからは、気を付けていきたいし、見直しをする時間があまりなかったので、見直しもできるように、時間も意識しながら、テストに取り組んでいきたいです。

⑫のような、少し長い問題のところは、きちんとできていたので、良かったです。演習率が2のところはテストで間違っていたので、ちゃんとテスト対策をしていきたいです。

テストまでの取組とその結果について振り返り、次の行動を具体的に考えることで、自己調整力の涵養を図る。

# 成果について

自力で解けるようになったと思っていたが、  
テストで〇にならなかつた問題の割合

第1回 45.1% → 第2回 38.8%

**演習の自己評価とテスト結果の不一致が減った。**

単元テストを振り返ってよかったところ、改善したいところ

授業で問題を解くことはできていたけれど、テストで解くとき  
には解き方を忘れてしまつて解くことができませんでした。なので、  
テスト前にもう一度すべて問題を解いてみて、解き方を確  
認しておくことが大切だと思ひました。

単元テストを振り返ってよかったところ、改善したいところ

study-upを学んだ瞬間に解くとそれ当然わかるけど、後日になると  
解けなくなるといふことがわかつたので、学んだ2日後ぐらいはstudy-up  
に取り組めば、調度よく勉強ができると思つたので、学んだ次の日ぐらい  
に自力で解いてわからなかつた、やり方はわかるけど理解できないことが  
あつたら先生に聞きにいこ!

# 成果について

単元テストを振り返ってよかったところ、改善したいところ

今回もケアレスミスが痛い... 土の付け忘れ、 $\alpha$ の書き忘れ...  
見直しで気が付けられよう。しっかり確認していこうと感じました。  
⑬は解けるのに！思い込み、怖い本当に... 確実に点教を  
取るように、落ち着いて... 冷静にテストに挑もうと思いま  
す。今回の良かったところは、 $m$ の値を求める、定数 $m$ の  
範囲を求める問題が出来ていたところです。習ったことが  
きちんと定着しているので、引き続きがんばっていきます!!

**成長を実感することができた。**

# 成果について

授業用振り返りシートから読み取れる取組方法の変化

① 「答えを写した」の割合

第1回 13.9% → 第2回 7.2%

② 「自力で解けるようになった」の割合

第1回 42.4% → 第2回 53.6%

**主体的に取り組む生徒が増えた。**